

岐阜県立不破高等学校

学 校 長 堀 貴雄

学校所在地 不破郡垂井町宮代1919の1 電話 0584-22-1002

1 会議の名称 岐阜県立不破高等学校評議員会 (第1回)

2 会議の構成

(評議員は五十音順)

評議員	川上 裕美	宮代保育園園長
	桐山 正紘	垂井町社会福祉協議会前会長
	西川 一明	宮代公民館館長
	丹羽 豊次	同窓会会長
	廣中 俊夫	P T A会長
学校側	堀 貴雄	校長
	棚橋 毅	教頭
	牧野 雅則	事務長
	橋 博	教諭
	曾根 章好	教諭
	川瀬 和仁	教諭
	岡田 眞紀	教諭

3 会議の目的 学校運営について地域住民や保護者から幅広く意見を聴き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 平成27年6月17日(水) 13:00~15:30 校長室 評議員5名と学校側7名が出席

5 会議の概要 (意見聴取・提案・提言等)

- 授業参観を終えての感想
 - ・ すべての教室の黒板がきれいで、文字が読みやすい。(不破高スタイルが活かされている。)
 - ・ 廊下等きれいで環境が整備されているので、気持ちよく過ごせた。
 - ・ 授業の様子は以前に比べ、行儀はよくなった。
 - ・ 授業態度は昨年よりよくなっている。
 - ・ 少人数での授業は良い。この良さを外へアピールしていくとよい。
- 校外での生徒の様子
 - ・ 交通安全の日に道路に立っていると、生徒が声をかけてくれる。過去に比べ生徒と接しやすくなった。
 - ・ 一部の生徒であろうが、先生方の指導の合間に交通マナーを守らないこともあるので、注意してほしい。
 - ・ 雨が降った時にカッパを着ている生徒をたびたび見かける。これも指導の成果であり、よい傾向である。

○ 外部との交流

- ・ 宮代保育園の園児との交流でも、子どもたちが心の底から高校生に飛び込んでいき、表情が生き生きするので嬉しく思っている。今後も続けていってほしい。
- ・ 公民館活動へも協力してもらってありがたい、今後もよろしくお願いしたい。
- ・ 本年度の宮代地区の、「青少年の健全育成を語る会」は、「ネットとわたし」がテーマである。同様のテーマで実施される「不破高セッション」も、生徒、保護者、教員三者の共通理解のもと、実りある会となることを期待する。
- ・ 不破高は宮代地区にあるので、宮代地区の行事に、極力協力してほしい。

○ その他

- ・ 評議員3年目であるが、毎年新しいことが行われ、学校が着実によくなっている。
- ・ 今までの殻を破り、前向きに取り組んでいることがよい。
- ・ 年々学校がきれいになっている。
- ・ 昨年度の評議員会で3年生の生徒から「不破高へ来て、勉強が好きになった。」と聞いたので、そういう話を他の人にも伝えている。
- ・ 高校になって勉強をするようになった。不破高を選択してよかった。
- ・ 少子高齢化で、高校の統廃合が言われる中、いろいろ大変であろうが、歴史ある高校の存続は不可欠である。
- ・ 不破郡出身の生徒数と大垣市出身の生徒数が反対にならないといけない。
- ・ 学校では授業だけでなく、社会に出てがんばる生徒を育ててほしい。
- ・ 「不破高セッション」がたのしみである。期待している。スマホ・LINE等親も理解しないといけない。子どもから声がかかることが大切であり、子どもが決めれば、基本的に守るようになると思う。

最後に（学校側よりお礼等）

校長より

多くは真面目で性格の良い生徒ばかりである。その生徒たちが、3年間過ごし、進路保証ができる学校にしたい。本校についてよくなってきていると感じていただいた思いを、ぜひ多くの方にPRして、より一層不破高校を応援していただきたい。